

実施報告書

事業実施代表者	氏名 役職 所在地 TEL/FAX/E-mail	梶原 成元 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 理事長 東京都墨田区両国三丁目25番5号 5638-7161/5638-7165/ kajihara@jwrf.or.jp
事業実施担当者	氏名 役職 所在地 TEL/FAX/E-mail	足立原敬一 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 事業支援部長 東京都墨田区両国三丁目25番5号 5638-7162/5638-7165/adachihara@jwrf.or.jp
経理責任者	氏名 役職 所在地 TEL/FAX/E-mail	金井 伸尚 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 経理担当部長 東京都墨田区両国三丁目25番5号 5638-7162/5638-7165/kanai@jwrf.or.jp
事業の主たる実施場所	東京都墨田区両国三丁目25番5号	
事業の内容	<p>1. 令和6年度実績</p> <p>(1) 間接補助事業の公募 間接補助事業の公募情報を、当財団ホームページに載せ、適切な公募期間(1ヶ月程度)を設けて、募集を行いました。 また、間接補助事業の趣旨と手続きについて、当財団ホームページへの掲載のほか、本事業関連事業者の団体などを通じてダイレクトメールなどで広く周知しました。 公募は、すべての事業について2次まで行いました。このうち1次は東京(WEB参加を含む)と大阪で、2次は東京(WEB参加を含む)で公募説明会を開催しました。</p> <p>(2) 間接補助事業の選定 間接補助事業の選定は、国の政策目的を重視し、かつ公平性・透明性を担保して実施します。このため、後述する外部の専門家や有識者等からなる審査委員会を設置し、採否に関する審査基準を制定するとともに、必要に応じて当該審査委員会の審査若しくは意見を聴いて、間接補助金交付先の採択を行いました。 また、採択結果は当財団ホームページにて公開しました。</p> <p>(3) 応募申請のあった間接補助事業の達成見込みについての事前審査 実施計画どおりに間接補助事業が達成できるかどうかについて、2決算期連続で債務超過の応募申請者について、当該間接補助事業の事業性を確認するとともに、応募団体の財務状況や社会的信用度等について中小企業診断士や専門</p>	

	<p>機関による調査等により事前審査を行いました。</p> <p>(4) 間接補助金の交付決定 間接補助金の交付決定に当たっては、事業計画及び内容と積算内容を確認し、適切な経費を確定する業務体制を確立し、補助金適正化法等の法令等を遵守して行いました。</p> <p>(5) 間接補助事業実施状況の確認 間接補助金の交付を決定した事業については、その実施状況を確認するため、現地調査や施工状況のヒアリング及び必要な指導を行い、適切な事業実施を担保しました。</p> <p>(6) 間接補助金の適正な執行に向けての周知・指導 間接補助事業実施状況の確認と併せて、経費の適切な執行について周知を図るとともに、状況のヒアリング及び現地指導を実施しました。</p> <p>(7) 間接補助事業費の精算手続き 間接補助事業の完了後に提出される実績報告書について、事業実施内容及び経費の支出に係る根拠書類を厳正に審査し、交付額の確定を行うとともに、適正な補助金額の交付を行いました。</p> <p>(8) 完了検査 全ての補助案件について完了実績報告書に添付する検収調書に試運転調整データ及び写真（位置情報付き）を添付させるとともに財団職員の指示のもと補助事業者が補助対象設備の稼働状況を含めた設置確認の動画を撮影してもらい財団でそのDVDを保管することにより、仕様書に示した性能が発揮されているかを確認しました。また、可能な限り現地確認を行いました。</p> <p>2. 令和7年度実績</p> <p>(1) 令和6年度に交付決定を行なったが、遅延のため令和7年度に繰越した補助事業について、精算手続き及び完了検査を実施した。</p> <p>(2) 令和6年度予算のうち執行残となった予算については、繰越手続きを行い、令和7年度に令和7年度予算と合わせて、上記1の(1)公募から(8)完了検査を実施した。</p>
<p>事業実施のスケジュール</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公募 2. 公募説明会 3. 審査委員会 4. 間接補助事業採択 5. 交付決定 6. 現地調査・指導 7. 交付額確定 8. 間接補助金支払い

